



# マグロの解体授業

## 取材

概要： 名向小学校3、4年生が、マグロに関わる授業を行った。

小学校3、4年生  
総合



### 実施内容

1. **実施校** 名向小学校
2. **目的** マグロを題材とした学習を行い、地域の産業に興味を持ち、郷土を愛する心を学ぶ
3. **内容** 3、4年生が視聴覚室に集まり、鱈会（マグロ仲買人の団体）の方がマグロを解体し、マグロの種類や部位、漁獲する場所を聞く。その後、保護者が焼いたマグロを様々な味付けをして食べた。
4. **日時** 平成28年 6月20日(月) 13:00～14:30
5. **場所** 名向小学校
6. **参加者** 名向小学校児童3、4年生120名、学校教育課職員、研究所職員
7. **指導者** 鱈会メンバー、名向小教員
8. **協力者** 保護者

### 当日の様子

○子どもたちは、これから始まるマグロ解体の授業に対して期待しつつ、待機していた。三浦ツナ之介（三浦市のゆるキャラ）が登場し、歓声があがった。

○マグロの解体が始まり、様々な部分が食べられることを学び、どこでマグロがとれるか、地球儀や世界地図で説明され、真剣な面持ちで話を聞いていた。

○マグロの解体が終わり、保護者がフライパンで焼いたマグロに、「マグロっておいしい！」という声が上がった。

○子どもたちが、マグロについて、くわしく知っていることに驚くとともに、三浦の海洋教育の基盤の強さを再認識した。